

ライオンズクラブ

「地区年次大会アワード」受賞

東日本国際大学

平成31年3月にキャンパス・ライオンズクラブを結成し、クラブの会長を務める吉村作治学長を筆頭に、

あったとして、「第66回地区年次大会アワード」が贈られた。

学生と教職員が一丸となって地域社会でボランティアに取り組んでいる東日本国際大学（福島県いわき市）。このほど、ライオンズクラブ国際協会332-D地区（事務局福島・郡山市）から、年間の活動を通して功績、貢献が

ライオンズクラブは、世界各地で地域社会のニーズに応える奉仕活動を行う団体だ。日本で大学内に組織されたのは同大が全国で2例目であり、大学の個性や特色を活かしながら、地域貢献活動を進めてきた。取り組みの具体例としては、NPO法人ザ・ピープ

吉村作治学長を筆頭に学生・教職員一丸となって活動



古着の山をリサイクル用に仕分けるなどの取り組みも



害に強く放射性物質の移行係数が低いとされる綿を有機栽培で育て、製品化まで行っている。学生たちも畑作業に参加しているほか、雨天で畑作業ができない日には、ザ・ピープルが回収している古着の仕分け作業にも挑戦した。

ル（本部福島・いわき市）の活動「ふくしまオーガニックコットンプロジェクト」への参加などが挙げられる。福島県では、農業従

事者の高齢化や東日本大震災の影響により、これまで地域経済を支えてきた農業生産高が減少。その状況を少しでも打開するべく、塩

ほかにも、病気や不慮の事故などが原因で頭髪を失った子どもにウィッグを無償で提供する「ヘアドネーション」の活動にも参加しており、周辺地域で髪の毛の寄付を募るなど、活発な活動を展開している。今回の表彰を機に、東日本国際大学ライオンズクラブの一層の活躍が期待される。